

9 かなづかい

【講義】漢字・文法 / かなづかい
かなづかい



■ かなづかい

「かなづかい」とは…

日本語を「」で表すときの正しい書き方のこと。

「かなづかい」は、まず「」から考える。

【例】

三日月



湯のみ茶わん



力強い



鼻血



「才段」(お・こ・そ・と・の・ほ・も・よ・ろ・を)を長く読むときは、「」で書くことが多い。

【例】

放送(ほーそー)



「才段」(お・こ・そ・と・の・ほ・も・よ・ろ・を)を長く読むときでも、「」のまま書くことがある。

【例】

公園(こーえん)



王様(おーさま)



妹(いもーと)



公	()	大きい	()
遠い	()	オオカミ	()
氷	()	多く	()
十	()	コオロギ	()



公に、知られぬ遠い氷の世界。

十の大きいオオカミと、多くのコオロギ住んでいた。



かなづかい

「」を考えて、

「」のばすと

「」の字が多い。

学習日 月 日